

## オレンジ色の蒸切干し用サツマイモ「ほしあかね」の安定栽培法

### [要約]

「ほしあかね」を5月上中旬に株間20～25cm程度で挿苗し、140日程度で収穫することで、蒸切干し加工に適したサイズや安定したオレンジ色の肉色を得られる。

茨城県農業総合センター農業研究所

令和3年度

成果  
区分

普及

### 1. 背景・ねらい

令和2年に品種登録出願公表された「ほしあかね」は、オレンジ肉色品種の蒸切干し用で、多様な商品の一つとして有望である。しかし、過肥大しやすく加工に不適な3L以上のサイズが多くなることや肉色のオレンジ色がばらつくことから、安定栽培法を確立する。

### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 加工に適したLサイズの芋を多く得るためには、5月中旬に挿苗し、140日程度で収穫する(図1)。6月以降に挿苗する場合、収量は3t/10a以下となる。
- 2) ウイルスフリー苗を使用した場合、非フリー苗と比べて収量や規格に大きな差はない(図2)。5月上中旬挿苗で、Lサイズの芋が多く得られる。6月以降に挿苗した場合は低収となる。
- 3) 株間を20～25cmで挿苗すると、Lサイズの芋が多く得られる(図3)。株間30cm以上では3Lサイズが多くなる(図3)。
- 4) 非フリー苗、ウイルスフリー苗ともに、5月中に挿苗することで、蒸切干し加工後の肉色の赤みを示すa\*値が安定して高い(表1)。6月以降の挿苗では赤み(a\*値)が低くなり、ばらつきが大きくなる。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) サツマイモ基腐病侵入防止対策としてウイルスフリー苗を用いること。
- 2) 種苗は、育成元と種苗の生産・販売等に関する許諾契約を締結している種苗会社等より購入する。種苗の問い合わせについては以下のURLを参照([http://www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/seeds\\_list/index.html](http://www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/seeds_list/index.html))。
- 3) サツマイモ栽培に適した排水の良い圃場に作付する。また、立枯病にやや弱いため、栽培圃場では土壌消毒を行った上で挿苗する。
- 4) 蒸切干し加工では、「べにはるか」と比較して、蒸け上がりが早いため注意する。また、乾燥後縮みやすいため、「べにはるか」より厚めにスライスする。

#### 4. 具体的データ

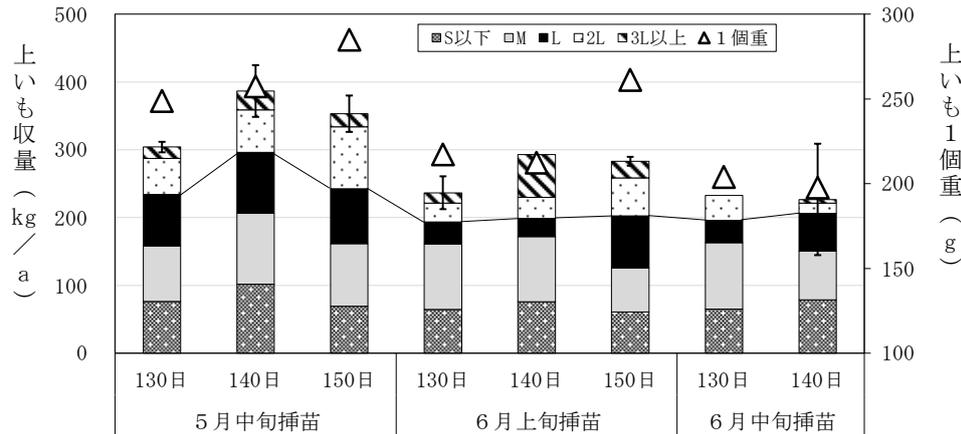


図1 播種時期と在圃日数が収量、上いも1個重へ及ぼす影響 (R2、R3)

注1) 図中のエラーバーは上いも収量の2年間の差を示す。 注2) 6月上旬140日、6月中旬130日はR2年度データのみ。

耕種概要 1) 様式: 黒マルチ栽培 2) 栽植密度(畦幅×株間(cm)): 100×25 3) 播種方法: 直挿し、7節の3節植え 3) 施肥量(N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O・kg/a): 0.3:1.0:1.0 4) 区制: 1区制 5) 調査株数: 30株/区

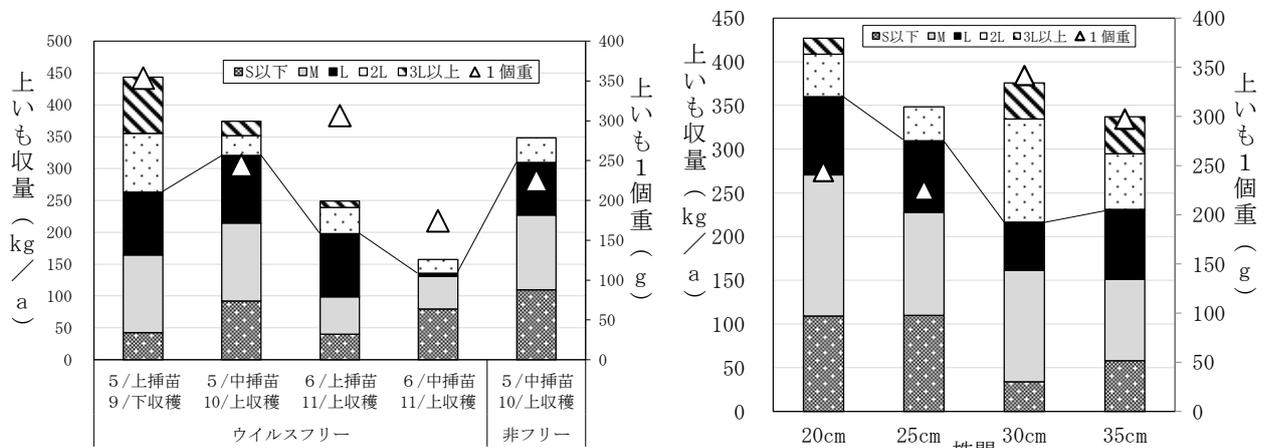


図2 ウイルスフリー化による収量への影響 (R3)

図3 株間の収量への影響 (R3)

耕種概要 1) 様式: 黒マルチ栽培 2) 栽植密度(畦幅×株間(cm)): 100×25 3) 播種方法: 直挿し、7節の3節植え 4) 在圃日数: 140日 5) 施肥量(N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O・kg/a): 0.3:1.0:1.0 6) 区制: 1区制 7) 調査株数: 30株/区

耕種概要 1) 様式: 黒マルチ栽培 2) 播種時期: 5月中旬 3) 播種方法: 直挿し、7節の3節植え 4) 在圃日数: 140日 5) 施肥量(N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O・kg/a): 0.3:1.0:1.0 6) 区制: 1区制 7) 調査株数: 30株/区

表1 栽培条件ごとの蒸切干し加工後の肉色 (R3)

苗の種類	非フリー						ウイルスフリー			
	5月中旬			6月上旬		6月中旬	5月上旬	5月中旬	6月上旬	6月中旬
在圃日数	130日	140日	150日	130日	150日	140日	140日			
a*値	13.6 a	13.4 ab	12.9 ab	11.6 ab	11.5 b	8.4 c	16.3 A	14.0 B	12.9 B	12.3 B
標準偏差 n=25	1.7	2.3	2.4	2.7	2.4	2.7	2.3	1.8	3.1	2.8
干し芋の様子										

注1) a\*値(+a\*: 赤方向、-a\*: 緑方向)、コニカミノルタ製CR-410型 色彩色差計で測定。

注2) 苗の種類ごと(非フリー、ウイルスフリー)にTukeyの多重比較を行った。非フリー間にはa~c、ウイルスフリー間にはA~Bで示しており、異英文字間で有意差有りを示す(p<0.05)。

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

サツマイモ有望品種選定試験・昭和43年～・作物研究室